付5 調査票の記入のしかた

令和元年7月改訂

労働力調査基礎調査票の記入のしかた

(2か月目の調査では、調査員が「氏名」を記入してお配りします。)



労働力調査は、「統計法」という法律に基づいて行われています。「統計法」では、正確な統計を作成するために、報告の義務、調査に携わる者の守秘義務などが定められています。 秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

あなたの世帯にふだん住んでいる人について、**月末現在**(ただし、12月は26日現在)で記入してください。

<u>ふだん住んでいる人とは</u>, 月末現在 (ただし, 12 月は 26 日現在) あなたの世帯に<u>すでに3か月以上住んでいる人</u>, 又は3か月以上にわたって住むことになっている人をいいます。

記入しなければならない人

查

調

- 家族
- ・住み込みの雇い人
- ・間借り人又は同居人

の

対

象

- (注)・旅行や出稼ぎ、単身赴任などで一時不在の人は、不在期間が3か月以上にならない時はあなたの世帯で記入しますが、3か月以上になる時は旅行先や出稼ぎ先などで調査されます。
 - ・病院・診療所などの入院患者のうち、入院してから3か月にならない人は、あなたの世帯で記入しますが、すでに3か月以上入院している人は入院先で調査さいた。

(注) 次のような場合は、それぞれ別の基礎調査票に 記入してください。

間借り又は同居している人

- ・単身で間借りしている人や、単身で部屋代・食費などを支払って同居している人は、一人一人を別の基礎調査票に記入します。
- ・家族と一緒に間借りしている場合、その家族ごとに別の基礎調査票に記入します。

寄宿者・独身寮などに住んでいる人

・会社・学校などの審宿舎・独身寮に住んでいる寄宿人・寮生 は、一人一人を別の基礎調査票に記入します。

調査の期日

お

調査月の末日(ただし、12 月は 26 日)現在で 15 歳以上の人については、月末 1 週間(ただし、12 月は 20~26 日)に少しでも仕事をしたかどうか、何日及び何時間仕事をしたか、どのような仕事をしたか、また、1 か月間に何日仕事をしたかなど、ありのままの状態を記入してください。

- この1週間に、ふだんしている仕事をした人は、その仕事について記入してください。
- **ふ**だん仕事をしていない人が、この1週間にたまたま臨時の仕事を少しでもした場合、その仕事について記入してください。
- ふだんは会社に勤めている人が、この1週間は勤め先を休んで、自家の農仕事を手伝った場合、その農仕事について 記入してください。

おぼえ書き欄

[この欄は、基礎調査票の第1面⑥欄に**月末1週間**(ただし、12月は20~26日)**に仕事をした時間**を記入する時のおぼえ書き欄として適宜利用してください。]

氏 名											
毎	1日目	月	日	()	時間 : 分					
日	2日目	月	日	()	:	:	:	:	:	:
か仕	3月目	月	月	()	:	:	:	:	:	:
事	4日目	月	日	()	:	:	:	:	:	:
を	5日目	月	日	()	:	:	:	:	:	:
した	6日目	月	日	()	:	:	:	:	:	:
時	7日目	月	日	()	:	:	:	:	:	:
間	1 週	間の) {	ì	計	:	:	:	:	:	:

記入例						
毎	1月目	時間 : 〇分				
Ħ	2月目	7:00				
か仕	3月目	: I5				
事	4日目	6:00				
を	5月目	: 0				
した	6月目	7:00				
時	7日目	7:00				
間	合 計	27:15				

2ページ~7ページを参考にして 調査票に記入してください

調査票の記入にあたって

17

- 調査票は、機械にかけますので、汚したり、丸めたり、最初に折られている以上に折ったりしないでください。
- 記入は必ず**黒の鉛筆**又は**黒のシャープペンシル**でお願いします。(ボールペン等は使用不可。)

記入もれや記入誤りがないか、提出前にもう一度ご確認ください

『基礎調査票』は、「⑤月末1週間に仕事をしたかどうかの別」の記入内容で、 回答する項目が異なります。

⑤月末1週間に仕事をしたかどうかの別 →

1 面

|5歳以上の人について記入してください ① 氏名及び男女の別 ふだん住んでいる 15歳以上の人を もれなく書いてください ② 世帯主との続き柄 ・孫の配偶者は孫に 兄弟姉妹の配傷者は兄弟姉妹に含めます ・ 推手の配偶者の父母・祖父母・兄弟姉妹は それぞれ 父母・祖父母・兄弟姉妹 に含めます ③ 出生の年月 ・該当する元号又は西暦に記入したうえで 年及び月を書いてください ・年を西暦で記入する場合は 西暦年の4ケタを書いてください ④ 配偶の関係 ・配偶者の有無は届出の有無に関係なく記入してください ⑤ 月末 | 週間 (ただし | 2 月は20~26日) に仕事をしたか どうかの別 こうかの別 月末 | 週間に少しでも仕事をしたかどうかについて 記入してください 仕事とは 収入をともなう仕事をいい 自家営業(個人経営の商店や農家など) の手伝いや内職も含めます (「基礎関音悪の記入のしかた」参昭) ⑥ 月末 Ⅰ週間 (ただし 12月は20~26日) に仕事をした 日数と時間 ・ 調票、内積・磁時の仕事などをした時間も すべて含めてください。 ・ ⑤場で仕事を体えていた」と答えた人は「の」と思いてください。 ・ 「猛硬調査票の配入のしかた」のおぼえ書き機を利用してください。 ⑦ 当月の | か月間に仕事をした日数







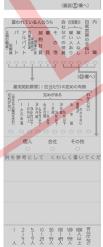


第2面













		٩	(配入おわり)						
すぐつく ことが できる	すぐではな 2週間以 つくことが	内に 2	すぐではな 2週間より つくことがで	後に で	くことが きない・ からない				
	인 (제 本)	(8	日入おれ	ob)	9				
探している仕事は おもにしていく仕事 かたわらにしていく仕事									
仕事	をやめたため	東京	新たに求職						
定年展	動め先	自分や	学校を	収入を募	Ŧ				
契約の数	や事業の	家族の	卒業した	得るかた	Ø				
亨	合	部合	な	から	他				
0	0	0	0	0	0				

1 2 5 10 30 100 500 1000 富原

労働力調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください

- 〇 労働力調査では、金銭を要求することは絶対にありません。また、銀行口座の暗証 番号やクレジットカード番号などをお聞きすることもありません。
- 労働力調査をよそおった不審な訪問者や、不審な電話・電子メールなどにご注意く ださい。不審に思った際には、回答しないで、速やかにお住まいの都道府県にお知ら せください。
- 労働力調査の調査員は、都道府県知事が発行する「調査員証」を携帯しています。

